

ユニセフ講座「子どもの権利条約を学ぼう！」報告

2022年10月1日 13:30~15:30 岩手県自治会館 第一会議室

子どもをめぐる状況を学ぶ講座。
24人の参加で開催されました。

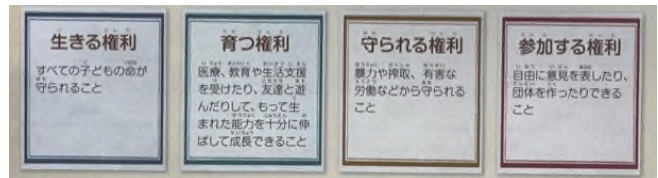


プログラム

- 1、「子どもの権利条約」をカードで学ぼう！ 岩手県ユニセフ協会
- 2、CAP 岩手さんのお話 CAP 岩手 代表 高橋 寿美子さん
CAP スペシャリスト 槻館 祐子さん
- 3、インクル子ども食堂さんのお話
インクル子ども食堂・子どものネットワークいわてコーディネーター
川守田 栄美子さん

1、「子どもの権利条約」をカードで学ぼう！ ユニセフのカードブックを使い、グループでのワークショップ。

4人ごとに「子どもの権利条約」カード40枚を右の4つの権利に分類するワークショップ。当てはまるもの、当てはまらないものがあり、悩みながらのグループ作業。



2、CAP 岩手さんのお話

CAPとは……

- ・Child(子ども)
 - ・Assault(暴力)
 - ・Prevention(防止)
- の頭文字。



子どもへの暴力防止という意味。子どもたちの人権意識を高めて、さまざまな暴力から自分を守る力を引き出す人権教育プログラム。子どもの権利を守るには、コミュニティや子どもの力を引き出す関わり方が大切。信頼できる人に出会うことで子どもの未来が変わる。

3、インクル子ども食堂さんのお話

「こども食堂」には、さまざまな形態があるが、「子どもが一人でも利用できる地域の方たちが無料あるいは少額で食事を提供する場所」のこと。地域づくり・居場所づくりを行う中で貧困や社会的孤立を解消する役割がある。子どもだけでなく、食べるだけでなくさまざまなメニュー(仕事体験・大学生との交流・季節の行事・食材配布・電話相談)が紹介されました。



～参加者からの感想～

- ・「子どもの権利条約」「CAP 岩手」「インクル子ども食堂」この3つのお話を聞いて、共通しているんだな、と思いました。子どもは「守る」もの、「守られる権利」が大きいと思いました。
- ・「子どもの権利条約」ほんとうに大事な条約ですね。自分が子育てしていた時期、親や大人の都合のいいように子どもに接していたこともあると大反省。今まさに子育てしている娘に、今日の話をして、家族で話し合ってみるのも大事なかな、と思いました。
- ・子どもは大人に守られて育ちますが、子どもも大人も信頼できる人に出会い、聴いてもらうこと、相談できる相手を見つけること、居場所があることで守られるのだとCAP 岩手さんやこども食堂さんのお話しにも通じるものがありました。今日は、家に帰って家族と人権について話してみたいと思います。